

愛知の土地改良



新年のご挨拶

2

研修会

19

秋の叙勲・表彰

7

広報活動

22

要請活動

8

お知らせ

26

事業情報

13



「馬飼頭首工夕陽に照らされて！」(木野 重利)

第21回あいちの農業・農村フォトコンテスト

水土里のフォト犬賞作品



みどり
水土里ネット 愛知

発行/愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



新年のご挨拶

新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会
会長 中野 治美



あけましておめでとうございます。

新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は長引くコロナに加え、ロシアによるウクライナ侵略や円安の進行などにより、私達を取り巻く状況は厳しいものがありました。一方では、7月執行の参議院選挙において、我々土地改良事業関係者の考え、要望を国に反映いただける進藤金日子参議院議員(都道府県土地連合会会議顧問)が再選されました。改めてご祝福を申し上げますとともに政策実現に向け国会の場でご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

また、10月には、大勢の土地改良関係者の方々のご参集のもと、第16回土地改良事業物故功労者慰霊祭並びに第16回土地改良事業推進大会を真宗大谷派名古屋別院におきまして盛大に開催させていただきました。物故功労者のご供養と土地改良事業関係者の総意を県当局始め関係機関に強く訴えることができましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、農業農村整備事業関係の令和5年度当初予算概算額は4,457億円が計上され、令和4年度補正予算と合わせると6,134億円となりました。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を

進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業・水資源機構構想事業の着実な推進と、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があり、昨年5月に明治用水頭首工で発生した大規模な漏水事故は、西三河地域の農業経営に重大な影響を及ぼし、農業用水を届ける農業水利施設の重要性及び施設の適時適切な補修・更新の必要性を改めて認識させられました。また、改正土地改良法の施行により土地改良区の運営基盤の強化が進められておりますが、受益面積や人口の減少等により土地改良区の組合員が減少する中、施設の維持管理に係る負担が増大するなど、土地改良区の運営は依然として厳しい状況にあり、新規採択を含めた計画的な事業等の推進のためには令和5年度概算要求額の満額確保と合わせ、補正予算による現場からの強い要請に応えられる十分な予算措置が不可欠です。そのため今後も本会ではあらゆる機会をとらえて愛知県、関係愛知県議会議員、農林水産省、関係国会議員に対して強力に要請活動を展開し予算確保に全力で取り組んで参る所存です。

水士里ネット愛知は、会員の皆様方のご意見等を反映しつつ、「闘う土地改良」「土地改良は未来の礎」のスローガンの下、今後とも業務運営に一層の鋭意努力をして参りますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

コロナ禍を乗り越えて、一日も早く安心して生活できることを願うとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。
昨年は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aiの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県が日本の成長エンジンとして、活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗りこなし、イノベーション創出に挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教

育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様のご生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

特に農林水産業では、2025年度を目標年度とする「食と緑の基本計画2025」に基づき、農業・林業・水産業の生産力強化や、県産農林水産物の需要拡大と農山漁村の魅力向上、農山漁村地域の防災減災対策をテーマとする5つの重点プロジェクトを軸に農業イノベーションの創出などの効果的な施策の実施に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な物流の停滞やロシアによるウクライナ侵攻の影響により、燃油、肥料、飼料などの農林水産業に欠かすことができない資材の価格が高騰していることから、農林漁業者への影響を最小限に抑えるための施策に取り組むほか、昨年5月に発生した明治用水頭首工漏水事故の本復旧に向けては、国や地元と連携し、引き続きしっかりと対応してまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。愛知県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいりる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円(TPP等対策:760億円、国土強靭化5か年加速化対策:817億円、食料安全保障対策:100億円)が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアによるウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいりる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまい

りました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」(国内生産力、輸入力、備蓄)の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶にさせていただきます。

新年ご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫



輝かしい初春を迎え、愛知県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。また、皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

さて、私が農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた昨年8月までの約10ヶ月間、皆様方から多くのご支援をいただきありがとうございました。その際お受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決に向けて、進藤金日子議員や農水省の職員の皆さん等と共に一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、このうち、農業農村整備事業関係については、1,677億円(食料安全保障強化対策100億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化817億円)が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増高分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算概

算額として、前年を上回る4,457億円が計上され総額6,134億円となる見込みとなりましたが、これからの国会議論において、しっかりと確保できるよう努めてまいります。

また、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、とりわけ、カロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、その安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、人口減少傾向に対応するスマート農業の取組などを含めて、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、愛知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位と関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申し上げ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

年頭のご挨拶

愛知県農林基盤局長
長田 敦司



あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、中野会長を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年5月に発生した明治用水頭首工における大規模な漏水事故では、取水に必要な水位を保持することができなくなり、用水供給が全面的に停止される非常事態となりました。事故発生直後から、国、県、市町、土地改良区が一丸となって用水確保にあたり、現場では建設業の方々が昼夜を問わず懸命に応急対策に取り組まれました。県としましても、県管理河川や農業用排水路等からの給水に要する経費に対して補助制度を創設するとともに、県所有応急ポンプの貸し出しや明治用水土地改良区に現地詰所を設置するなど、配水管理が円滑に行われるよう支援しました。取水が制限され、農家の方々には多大な御苦勞をおかけしましたが、皆様の御理解、御協力により、なんとか取水量がピークとなる夏場を乗り切れたことに、心より感謝申し上げます。

こうした水源施設での重大な事故を目の当たりにし、土地改良の真髓が農業用水の供給にあることを再認識するとともに、先人から引き継いだ農業水利施設を「地域の宝」として守り続けるのが我々の責務であること、そして農業水利施設の適時・適切な更新が重要であることを強く感じたところです。

また、近年の豪雨災害は激甚化・頻発化の傾向が顕著となり、本県においては南海トラフ地震の発生も危惧されていることから、災害を未然に防止する排水機場やため池の豪雨・地震対策が急務であると考えてお

ります。

加えて、昨年から電力料金や燃油価格が急激に高騰し、用水機場や排水機場の運転費用の負担が増大しました。県としましては、農業水利施設を管理する土地改良区等の維持管理費を支援するため、排水機維持管理事業の増額対応や、用水機場等の電気料金に対する支援制度と、農業水利施設の省エネルギー化推進に向けた対策への支援制度を創設しました。

農家や地域住民に一番近いところで施設の維持管理を担っている土地改良区の皆様の声を、地域の強い要望と受け止め、引き続き対応してまいりたい所存です。

こうした中、国の農業農村整備関係予算は、2022年度補正予算で「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を含め1,677億円が確保され、2023年度当初予算につきましては4,457億円が見込まれております。県としましては、地域のニーズに応じた計画的な事業実施に必要な予算を確保し、「食と緑の基本計画2025」で掲げる「生産の柱：持続的に発展する農林水産業の実現」、「暮らしの柱：農林水産の恵みを共有する社会の実現」という2つの施策の柱に基づき、農業生産基盤の整備や地域の防災減災対策などを着実に推進してまいります。

貴連合会におかれましては、本県農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業用水等の保管理、土地改良区の新たな体制づくりに御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の御発展と会員各位の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



秋の叙勲

政府は令和4年11月3日付で令和4年秋の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは、2名の方が受章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお願いいたします。

旭日双光章



小野田 賢治 様

元本会理事、前みよし市長、
前みよし土地改良区理事長

旭日双光章



横山 光明 様

元本会理事 前設楽町長

第74回 愛知県条列表彰

愛知県では、愛知県表彰条例(平成15年条例第6号)に基づき、地方自治、産業、教育文化などの各分野において功績が顕著な個人(団体)に対し、毎年愛知県知事より表彰が執り行われております。

このたび、多年にわたり土地改良事業の推進

に尽力され、地域の農業基盤の整備や農業の振興に貢献された方々に対し以下の表彰が贈られました。

これまでのご功績に感謝を申し上げますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

地方自治功労者表彰

長瀬 保 様
(元本会理事・前北名古屋市長)

産業功労者表彰

早川 健三 様
(元本会代表監事・前油ヶ渕悪水土地改良区理事長)

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

10月20日(木)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンパッハ・サボーで農業農村整備の集いが開催された。

全国水土里ネット主催のこの集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と2回開催されている。本県からは、小久保三夫副会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より29名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、来年度予算編成に向けた折衝が進んでいる中、農家の方々から期待を持って働いていただける環境を作るため、十分な予算確保に向けて一致団結していくことを宣言された後、男女共同参画の取り組みを本格化させていくにあたり、「土地改良区の理事の10%を女性にする」「土地改良区と県土連の女性登用を推進する」という目標達成に向けて今年から集中的に取り組んでいただきたい旨を告げられた。

その後、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践しておられる水土里ネットやまなしの萩原丈巳総務課長に、その顕著な活躍を称えて二階会長から感謝状が授与された。

続いて、藤木眞也農林水産大臣政務官より、「我が国の農林水産業は、国民生活に必要な不可欠な食料を供給するとともに、国土保全等の多面的機能を有している。一方で、国内市場の縮小や生産者



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶

の減少・高齢化などの課題に直面しているほか、ロシアによるウクライナ侵略などによる食料安全保障上のリスクの高まりや、気候変動等の問題にも適切に対応することが求められている。このため、農林水産省としては、農林水産物・食品の輸出促進、「みどりの食料システム戦略」を踏まえた環境負荷低減の取組推進、スマート農林水産業の推進などの施策を着実に進めていく。そのために必要な予算は、平成22年の大幅削減前の水準を上回り、令和4年度には当初予算と前年度補正予算を合わせて6,285億円を確保した。来年度に向けても必要な予算の確保に全力で取り組んでいく」との祝辞をいただいた。

その他、遠藤利明自由民主党総務会長、森山裕自由民主党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、進藤金子参議院議員から祝辞が述べられ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

また情勢報告として、宮崎雅夫参議院議員より電力料金の高騰、水田活用直接支払交付金の見直し、防災減災・国土強靱化の3点が挙げられ、土地改良予算の回復ぶり、土地改良法をはじめとする関係法令の改正、制定に言及し、「これまでの闘いの成果を認識しながら、更なる闘いを進めていこう」と呼びかけられた。

最後に、「ガンパロウ三唱」として令和4年11月に全国土地改良大会を開催された水土里ネット



宮崎雅夫参議院議員による情勢報告

おきなわの知念武冲副会長が登壇され、令和5年度当初予算の獲得を目指し、一致団結することを



知念冲縄県土連副会長によるガンパロウ三唱

誓い閉会した。



小久保三夫副会長から進藤・宮崎両参議院議員に要請書を手交

令和5年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

〈東海農政局〉

10月13日(木)、中野治美会長より、令和5年度農業農村整備事業に関する18項目の重点要請



小林勝利東海農政局長に要請書を手交

を、小林勝利東海農政局長を始め、局幹部職員に対し実施した。



東海農政局幹部への要請

〈農林水産省及び関係国会議員〉

10月20日(木)、小久保三夫副会長より、令和5年度農業農村整備事業に関する18項目の重点要請を、安部伸治農村振興局次長を始め幹部職員に対し実施した。午後からは、同内容の重点要請



安部伸治農村振興局次長に要請書を手交

を、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、藤川政人参議院議員始め愛知県選出の衆・参国会议員に対し実施した。



青山整備部長に要請書を手交

10ページへ続く

〈自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟〉

11月24日(木)、中根俊樹専務理事より、令和5年度農業農村整備事業に関する20項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

〈愛知県知事〉

その後、同内容の重点要請を、中野治美会長より、大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し実施した。



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

国においては、令和5年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度より820億円増の5,273億円を要望しているところであります。

事業の新規採択を含め、その計画的な推進のためには、当初予算の安定的な確保が不可欠であります。令和5年度概算要求額の満額確保と合わせ、補正予算を編成し、現場からの強い要請に応えられるよう、十分な予算措置をお願いいたします。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたこ

とにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業・水資源機構営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、施設を早期に改修する必要があります。また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず地

農対策を計画的に進める必要があります。

また、昨年秋頃から続く電力料金や重油価格の急激な上昇により、用水機場や排水機場を管理する土地改良区の負担は大きくなっています。そのため、農業水利施設を適切に維持管理し、機能を十分に発揮させるための対策が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて20項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請20項目

I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 2 燃油価格高騰に対する農業水利施設管理者への支援について

II 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 2 国土強靱化に資する農村地域防災減災事業の促進について
- 3 農業用排水路の老朽化及び長寿命化対策の促進について
- 4 特定農業用管路等特別対策事業の促進について
- 5 農山漁村地域整備交付金の促進について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 7 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 8 水利施設管理強化事業の促進について
- 9 単独土地改良事業等の推進について
- 10 農業用排水機場の適切な維持管理に対する支援について

III 暮らしを支える大規模水利施設耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期事業化について
- 5 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 6 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 7 水資源機構営 木曾川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 8 水資源機構施設の更新整備について

※国会議員・農林水産省には、IIの9・10除く18項目を要請

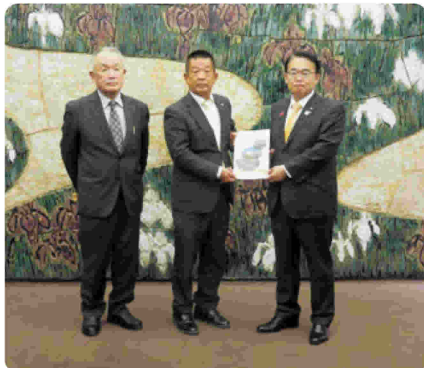
農業用排水機県営移管期成同盟会 要請活動を実施

11月24日(木)、農業用排水機県営移管期成同盟会において、伊藤稔秋副会長、小久保武彦副会長より、大村秀章愛知県知事を始め、県執行部並

びに自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書は次のとおり。

要請書

排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されました。

このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長

寿命化や更新を行って頂いておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制を確保する必要があると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来の交付対象額が充足されていない状況が続いています。

この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難になり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

第16回 愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭執行

— 物故功労者268柱の御霊を慰霊 —

10月26日(水)午後2時より、真宗大谷派名古屋別院において、第16回愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭を、約60名のご遺族と200名余の土地改良事業関係者のご出席のもと、盛大且つ厳かに執り行った。

慰霊祭は小久保三夫副会長の開式のことばに始まり、僧侶、導師入堂の後、参加者一同が合掌を行い、御霊を慰霊するための読経が流れる中、施主である中野治美会長の焼香に続いて、遺族代表前平和土地改良区理事長故恒川宣彦様ご遺族の恒川幹司様、古本伸一郎愛知県副知事、宮崎雅夫

参議院議員、小林勝利東海農政局長、桑原耕一水資源機構中部支社長、ご遺族、来賓、役員全員の焼香がなされた。

僧侶、導師退堂の後、中野会長より施主追悼のことばを、続いて、古本愛知県副知事、宮崎参議院議員、小林東海農政局長が、祭壇に祭られた268柱の物故功労者の方々の生前のお元気な姿を偲びつつ、追悼のことばを述べられた。

次に、遺族を代表して恒川様から感謝のことばが述べられ、浜田一徳理事の閉式のことばをもって物故功労者慰霊祭は終了した。



中野会長による施主追悼のことば



宮崎雅夫参議院議員からの追悼のことば

第16回 愛知県土地改良事業推進大会を盛大に挙行

10月26日午後3時より、真宗大谷派名古屋別院において、第16回愛知県土地改良事業推進大会を挙行了した。

来賓として、大村秀章愛知県知事、宮崎雅夫参

議院議員、須崎かん愛知県議会議長、小林勝利東海農政局長、桑原耕一水資源機構中部支社長始め、東海農政局、愛知県農林基盤局から多数の幹部の方々を迎えた。また、本会役員及び県内各地



中野会長によるあいさつ



知事感謝状を授与された瀬戸三朗宮田用水土地改良区理事長

域から参集した土地改良事業関係者は200名余となった。

大会は、小久保三夫副会長の開会のことばに始まり、中野治美会長の主催者挨拶の後、土地改良事業功労者55名の知事表彰が行われた。大村愛知県知事より、受賞者代表の瀬戸三朗富田用土地改良区理事長に知事感謝状と記念品が授与され、今後とも土地改良事業の推進にご尽力されることをお願いし、表彰式を終えた。

続いて、来賓祝辞として、大村愛知県知事、宮崎参議院議員、須崎愛知県議会議長、小林東海農政局長からご祝辞をいただいた。

この後、大会の議長に中野会長が選出され、各支会の代表から9項目の要望事項の提案がなさ

れ、「土地改良事業推進に関する要望決議案」を中根俊樹専務理事が朗読し、満場一致で採択され、最後に、浜田一徳理事の閉会のことばで推進大会は盛会の内に終了した。



推進大会の様子

土地改良事業推進に関する要望決議

農業・農村では、本格的な人口減少社会の到来により、過疎化、高齢化、担い手不足による農地の荒廃や、農業用水等の管理及び営農の継続への影響が懸念され、また、激変する国際情勢や経済対策などの課題が山積するなど、農業・農村を取り巻く環境は大きく変化しつつある。

こうした中、土地改良事業により生産性の高い優良農地と安定した農業用水を確保することは、我が国の農業の基礎を支え、競争力を高め強い農業を実現するとともに、食料安全保障を確立するうえで益々重要となっている。

2022年5月17日に明治用水頭工事で発生した大規模な漏水事故は、西三河地域の農業経営に重大な影響を及ぼし、農業用水を届ける農業水利施設の重要性及び施設の適時適切な補修・更新の必要性を改めて認識させられた。

また、南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害への対策に加え、農業用ため池に係る防災工事等の推進など、地域の防災・減災対策を担い、強靱な県土づくりに資する土地改良事業に対し、県民の要望は一層高まっている。

加えて、改正土地改良法の施行により土地改良区の運営基盤の強化が進められているが、受益面積や人口の減少等により土地改良区の組合員が減少する中、施設の維持管理に係る負担が増大するなど、土地改良区の運営は依然として厳しい状況にある。

更に、依然として猛威を振るう新型コロナウイルスにより土地改良関係者が罹患した場合においても、土地改良区の運営はもとより、管理施設の適切な稼働が常に求められるため、土地改良関係者が背負う社会的責任は極めて大きい。

我々土地改良関係者は、貴重な資源である「水」と「土」を守り育み、地域の安全・安心を確保するため、土地改良事業が地域の合意に基づき、地域に密着した真に必要な事業であることを強く訴えるとともに、女性の能力も活用しつつ、「開う土地改良」「土地改良は未来の礎」のスローガンの下、今後とも事業が着実に推進できるよう強く要望する。

記

- 1 土地改良事業は、農業の成長産業化に資するとともに、県民の命と暮らしを守り、地域全体の発展を支えているのみならず、食料自給力の維持・向上を通じて、食料安全保障に大きく寄与していることから、国、県、市町村予算を積極的に確保し、国営事業、水資源機構営事業、県営・団体営事業を一時的に推進すること。
- 2 農業水利施設の適時適切な補修・更新、担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革に資する土地改良事業を着実に推進すること。
- 3 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、農業水利施設の防災減災対策を強力に推進するとともに、今後さらに必要となる施設の整備に加え適正な管理ができるよう、市町村を含めた地元負担の軽減を図ること。
- 4 「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき策定した「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に則り、ため池の防災工事等を集中的かつ計画的に推進すること。

- 5 地域に密着し、よりきめ細かい農業・農村の整備を進めるため、地元負担の軽減及び採択要件の緩和を図り、単独県費補助事業を促進すること。
- 6 貴重な地域資源である農地、農業用水等を保全し、農業の持つ多面的機能の発揮に寄与する多面的機能支払事業に対し、必要な支援措置を講ずること。
- 7 電気料金や重油価格の急激な高騰に対して、農業水利施設を管理・運営する土地改良区への財政支援を図ること。
- 8 多面的機能を有する中山間地域に適した農地利用集積を促進する制度を創設すること。
- 9 土地改良施設維持管理に対する財政支援を拡充・強化すること。

以上決議する。
令和4年10月26日

第16回愛知県土地改良事業推進大会

愛知県知事感謝状受賞者

(敬称略・順不同)

名古屋支会	加藤和政	藤高土地改良区	海部支会	柴田聰	佐織土地改良区		
	石黒昭法	西福田土地改良区		平野英治	立田村土地改良区		
	服部勝三	富田町土地改良区		杉村義仁	立田輪中悪水土地改良区		
	佐藤勇夫	協和土地改良区		半田支会	山下光昭	西之口土地改良区	
	一宮支会	高木銈一			入鹿用水土地改良区	畑中敏和	常滑土地改良区
		寺澤克己			入鹿用水土地改良区	深谷久夫	東浦町土地改良区
		宮田成紀			入鹿用水土地改良区	杉山央光	知多南部土地改良区
		佐藤正晴			宮田用水土地改良区	谷川喜信	美浜町土地改良区
		瀬戸三朗		宮田用水土地改良区	森田寿一	知多市土地改良区	
		原幹博		西成土地改良区	岡崎支会	山田正直	額田土地改良区
中村嘉春		丹羽用水土地改良区	川澄幸浩	占部用水土地改良区			
横井彰夫		平和土地改良区	内田裕章	東阿知和土地改良区			
太田晶	平和土地改良区	稲吉優	幸田土地改良区				
松岡敏夫	昭和用排水土地改良区	永井博之	幸田土地改良区				
岩井孝雄	江南市土地改良区	野沢基	幸田土地改良区				
海部支会	笹邊龍雄	蟹江大溝悪水土地改良区	神谷昌明	碧南市土地改良区			
	飯田信義	蟹江大溝悪水土地改良区	豊田支会	梅村利幸	豊田土地改良区		
	吉兼由男	蟹江町土地改良区		近藤浩尚	みよし土地改良区		
	石原民敏	五八悪水土地改良区	豊橋支会	岡田敏昭	豊川市土地改良区		
	近藤哲夫	五八悪水土地改良区		坂田應克	牟呂用水土地改良区		
	長谷川喜久男	十三沖永悪水土地改良区		山田肇	豊橋南部土地改良区		
	成田善雄	日光川西悪水土地改良区		森一美	豊橋南部土地改良区		
	三輪光雄	篠田悪水土地改良区		都築武久	豊橋開拓土地改良区		
	林文博	篠田悪水土地改良区		萩本敏夫	豊橋北部土地改良区		
	木下政敏	宝南悪水土地改良区		野口孝允	豊橋北部土地改良区		
	平野瞳	十四山土地改良区		石原廣太郎	蒲郡市土地改良区		
	伊藤宗雄	孫宝排水土地改良区		中川弘朗	田原市土地改良区		
	佐藤正直	佐屋町土地改良区					

以上55名

第44回 全国土地改良大会 沖縄大会

水土里の拓くみるく世を 鳴らしとぅゆまし守禮の邦から

第44回全国土地改良大会沖縄大会が、11月22日(火)、「沖縄アリーナ」(沖縄県沖縄市)において、全国水土里ネット・水土里ネットおきなわの主催により開催された。

沖縄復帰50周年の節目の年に、「水土里の拓くみるく世を 鳴らしとぅゆまし守禮の邦から」(みるく世:平和で豊かな世の中 鳴らし:発信しよう とぅゆまし:響かせよう)を大会テーマに、農業農村整備事業の重要性を広く国民にアピールすべく全国の土地改良事業関係者が沖縄県に一堂に集った。

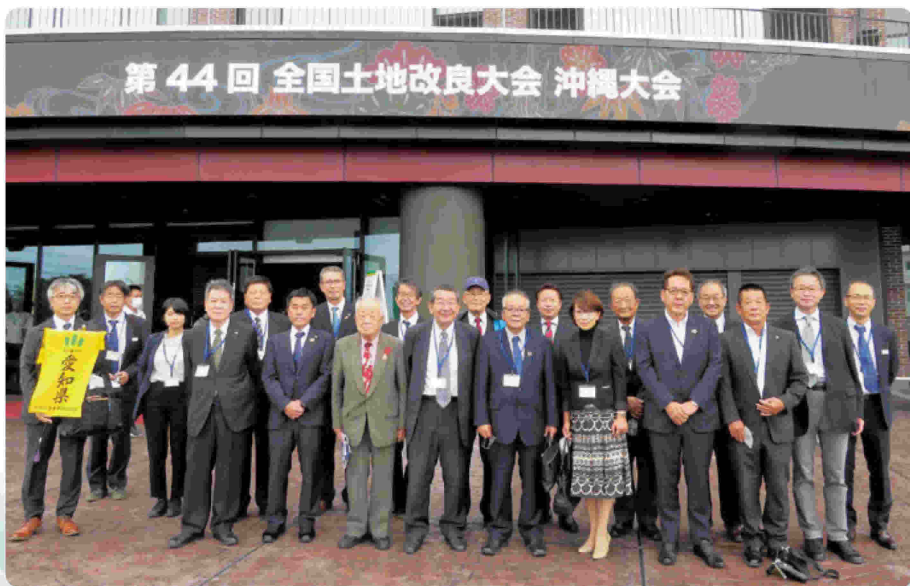
オープニングセレモニーとして迫力ある空手の団体形演武、琉球國祭り太鼓等が披露された後、古謝景春沖縄県土地改良事業団体連合会会長による力強い大会旗入場を皮切りに、開会宣言、国家斉唱、開会挨拶と進んだ。古謝会長は「国民の命を支える食料を安定確保するため、これまで以上に農業農村整備を推進していく。豊かな水土里の素晴らしさを全国に向けて発信し、農業農村の

振興に取り組んでまいりましょう」と挨拶を述べられた。

引き続き主催者挨拶として、二階俊博全国水土里ネット会長からは「全国の農業を守るため、農業関係者を支え、皆で頑張ることを誓い合う大会に」と挨拶が発せられた。

玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫沖縄市長による歓迎のこたば、勝俣孝明農林水産副大臣、沖縄県選出の西銘恒三郎衆議院議員による来賓祝辞、進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員のビデオメッセージによる祝辞が流された。

その後、土地改良事業功績者表彰式が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。受賞者は一人ずつ名前を呼びあげられるとその場で起立し、スクリーンに映し出された。本県からは、全国土地改良事業団体連合会長表彰に、片岡勝城常滑土地改良区理事長(本会理事)が表彰



大会会場前の集合写真

の栄に浴された。

式典の後半には、安部伸治農林水産省農村振興局次長による基調講演、優良事例紹介があった。

力強い大会宣言がなされた後、次期開催県の福井県に大会旗を引き継がれ、大会は盛会裏に幕を閉じた。

23日(水)は事業視察研修会が行われ、本会は沖縄本島南部土地改良区が管理・運営する慶座地下ダム(八重瀬町)を視察した。

この施設は、海水位より高いところに貯留された地下水を利用する貯留型の地下ダムであり、この地下ダムと用水路の新設により、河川がなく畑地かんがい困難であった現地の農業生産性は格段に向上している。

現地では小雨の降る中、参加者は現地担当者の熱心な説明に耳を傾けながら地下ダムの水位水質観測施設を中心に見学を行った。



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶



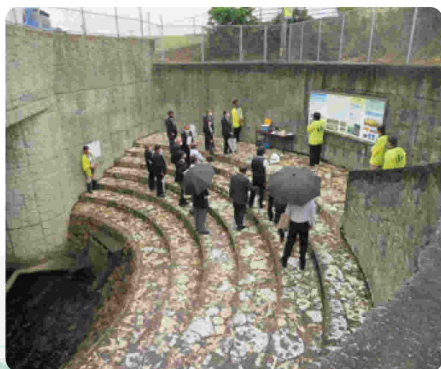
福井県への大会旗の引継ぎ



全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された片岡勝城常滑土地改良区理事長



慶座ダムの水位水質観測施設



慶座地下ダムの視察

令和4年度 農地・水・環境のつどい

10月10日(月・祝)、安城市民会館 サルビアホールにおいて、「農地・水・環境のつどい」を愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。この催しは、優良活動表彰会と研修会の2部構成になっており、愛知県内の地域共同活動における農用地・水路・農道等、地域資源の保管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及、県民の理解促進、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に毎年開催している。

第1部の優良活動表彰会では、大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、2組織へ愛知県知事賞が、4組織へ愛知県土地改良事業団体連合会長賞が授与された。その後、宮崎雅夫参議院議員、須崎かん愛知県議会議長による来賓祝辞が述べられた。この後、愛知県知事賞を受賞した2組織の活動が活動組織より紹介され、宮崎雅夫参議院議員



大村愛知県知事による主催者挨拶

が講評を述べられ第1部を終了した。

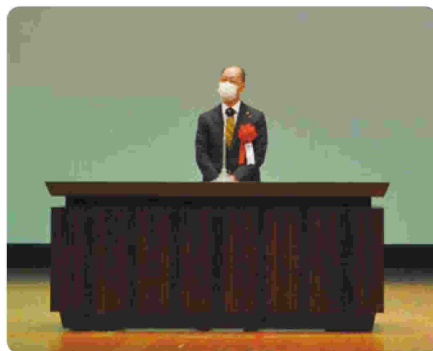
第2部の研修会では国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の志藤博克氏による機械の安全使用に関する研修が行われ、最後に中野治美会長による閉会の挨拶で幕を閉じた。

受賞組織は、次のとおり。

部門	愛知県知事賞	愛知県土地改良事業団体連合会長賞
農地・施設保全活動	上古戸地区環境保全会 (東栄町)	福地広域協定運営委員会(西尾市) 泉地域環境保全会(田原市)
農村環境保全活動	中根みどり保全会 (豊田市)	みはま奥田保全会(美浜町) 高棚環境向上委員会(安城市)



優良活動表彰会での県土連合会長賞授与



宮崎雅夫参議院議員による来賓祝辞

適格請求書等保存方式(インボイス制度)研修会

10月31日(月)愛知県土地改良会館6階研修室において、標記研修会を、尾野 悟 本会顧問税理士を講師に迎え開催した。

研修会場には、土地改良区職員約40名が参集した他、本会主催研修会としては初のWEB配信も実施した。

研修は、令和5年10月から開始となる適格請求書等保存方式(インボイス制度)の概要をはじめ、各土地改良区の今後の対応についての説明を受けた後、質疑応答を含め約1時間程度実施した。

令和4年度

土地改良区体制強化事業技術実践向上研修

11月10日(木)～11日(金)にかけて、令和4年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修を開催し、延べ52名が参加した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村及び水土里ネット役職員の技術力向上を図るべく、土地改良区体制強化事業の一環として実施している。

今年度は、情報通信技術(ICT)の活用や土地改

良事業を実施するにあたり必要かつ重要な役割を持つ技術士の制度について学ぶ研修として企画した。

講師として、東海農政局、東海農業土木技術士会、本会職員から当該事業を担当されている方々をお招きし、それぞれの内容で具体的な講義が行われた。

研修カリキュラムは以下のとおり。



中根専務理事による開講挨拶



東海農政局 関島地方参事官による講義

(敬称略)

月 日	研 修 内 容	講 師
11月10日(木)	農業農村整備事業を取り巻く最新の動向と施策	東海農政局 地方参事官 関島 建志
	会計検査についての最新の動向	東海農政局 農村振興部設計課 工事検査官 阪部 正志
11月11日(金)	我が国の食料・農業・農村をめぐる課題と施策	東海農政局 企画調整室 企画官(総括) 小山 幸生
	農業農村整備における情報化施工の概要	東海農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 星 葉子
	技術士制度の概要～農業農村工学を中心に～	東海農業土木技術士会 事務局長 浅田 務
	水土里情報システムの概要と基礎知識	水土里ネット愛知 事業部 地域保全課長補佐 平野 浩幸
水利施設の維持管理における水土里情報システムの活用		

水土里ネット事業視察研修会

12月15日(木)～16日(金)にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、48名参加のもと、事業視察研修会を開催した。

1日目の視察は、滋賀県長浜市の湖北土地改良区において土地改良区の概要と国営湖北土地改良事業について伊藤専務理事、宮崎事務局長、片岡総務課長補佐より説明を受けた。近年は施設の老朽化等による漏水事故が多く発生し、緊急的な補修対応や資材の調達に苦慮しているが、近隣の土地改良区と保管していた資材を融通した実績があり、今後も更に連携をとって運営を進めていきたいとの説明があった。

説明の後、国営事業で整備された琵琶湖から余呉湖へ揚水するためのポンプ施設「余呉湖揚水機場」での現地説明を受けた。

午後からは、石川県金沢市にある、石川県立歴史博物館にて辰巳用水の歴史について視察を行った。寛永9年(1632)に整備された用水で、藩政時代に使用された石管が博物館敷地内に展示されている。大正期には水路の一部を利用した小水力発電施設により発電を行うなど先進的な用水であったことに感銘を受けた。兼六園の

主要な水源としても有名で、自然豊かな辰巳用水遊歩道が整備(H5)され今も市民に親しまれている。

2日目には、同県白山市の手取川七ヶ用水土地改良区の管理する白山管理センターにおいて、土地改良区の概要と水管理システムについて本屋理事長、中川総務課長より説明を受けた。水管理システムについては、用排水の合理的な管理のため19ヶ所の各水門に制御装置、映像監視ができる集中管理システムとともに、近年多発するゲリラ豪雨等に対応するため気象予報会社と契約を結びリアルタイムに気象情報を得ながらきめ細やかな運用を行っているとの説明を受けた。説明の後、明治36年に整備され、平成26年に世界かんがい施設遺産にも登録された、手取川七ヶ用水大水門の見学を行った。

午後からは、建設機械メーカーである小松製作所(株)が運営する「こまつの杜」を視察し、日本の国土発展に寄与した建設機器の歴史やICT技術を駆使した農業分野への展開について理解を深めることが出来た。

いずれの視察先でも活発な質疑応答があり有意義な研修となった。



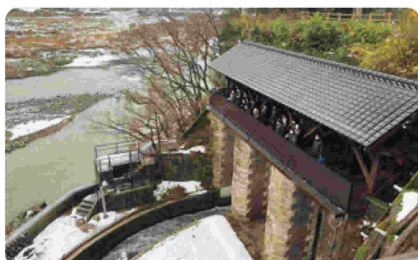
湖北土地改良区での説明



手取川七ヶ用水(白山管理センター)での説明



左：余呉湖揚水機場での説明(取水)
右：余呉湖揚水機場での説明(ポンプ施設)



手取川七ヶ用水(大水門)での説明

農業用排水機渠営移管期成同盟会事業視察研修会

12月8日(木)～9日(金)、本会内に事務局を置く農業用排水機渠営移管期成同盟会の事業視察研修会を、蔵王ダム(滋賀県蒲生郡日野町)、一ノ井堰(京都市西京区)、琵琶湖疏水路閘(京都市西京区)にて実施した。研修会には同盟会役員・会員あわせ48名が参加した。

蔵王ダムでは施設を管理する日野川流域土地改良区、一ノ井堰では洛西土地改良区より施設

の概要や実施中の国営事業等についての説明を受けた。また、水路閘については自由散策とし、施設の成り立ちや状況を各自見て回った。

研修会は2日間を通して非常に充実した内容となり、各地域における今後の農業用排水機の維持管理や組織の運営について学習する良い機会とすることができた。



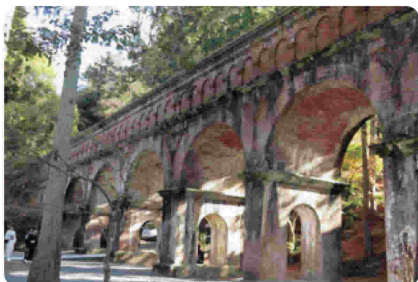
蔵王ダム見学



日野川流域土地改良区にて概要説明



一ノ井堰での説明



琵琶湖疏水路閘

水土里情報システム活用操作研修会

12月8日(木)～12日(月)にかけて、標記研修会を22団体・36名参加のもと開催した。

農地筆・耕区図の活用について各団体が所有している台帳(賦課台帳、作付け台帳等)と水土里情報システムを連携し、所有者や作付け状況を図化する方法を紹介した。

併せて、活用データを投入するためのユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータへの書き込み作業実習を実施した。

また、図形の編集及び印刷ツールによる図郭印刷の実習も行った。



広報活動

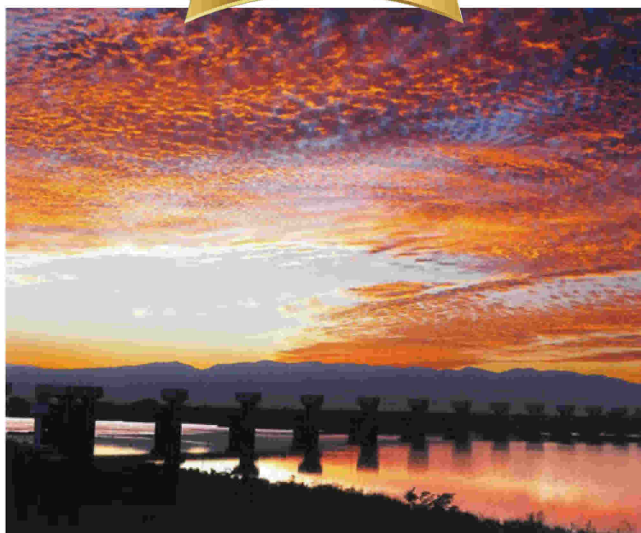
第21回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 入賞作品発表

11月29日(火)、本会主催、愛知県後援の「第21回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を本会7階大会議室にて開催した。県内各地から、今回のテーマ「農業・農村の景観と調和する土地改良施設」を表現した作品288点(134名)

の応募があった。

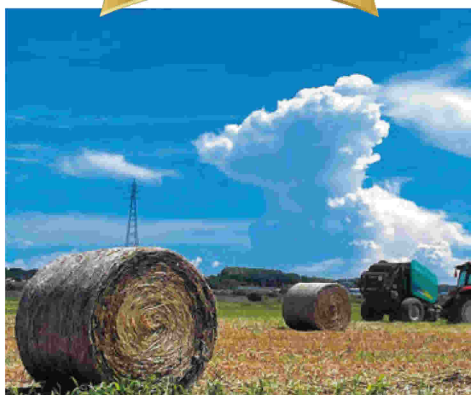
審査は、審査会規程第2条により実施され、7名の審査員による厳正な審査の結果、水土里フォト大賞1点、優秀賞2点、入選10点、四季賞4点、多面的機能共同活動賞3点の合計20点が選考された。

水土里フォト大賞



「馬飼頭首工夕陽に照らされて」(撮影場所：稲沢市)
撮影者：木野 重利

水土里フォト優秀賞



「夏の日」(撮影場所：田原市)
撮影者：鈴木 健造

水土里フォト優秀賞



「桜咲く烏ヶ池」(撮影場所：西尾市)
撮影者：入倉 喜巳男

水土里フォト入選



「収穫の秋」(撮影場所:安城市)
撮影者・加賀澤 勝

水土里フォト入選



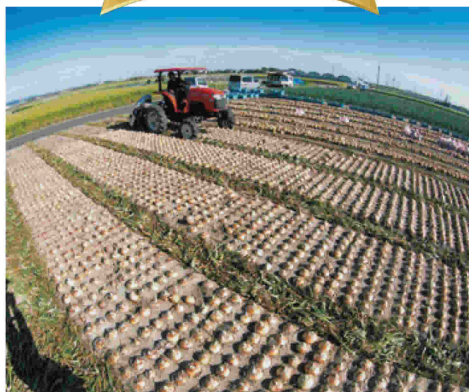
「SDGs(小水力発電)」(撮影場所:豊田市)
撮影者・加藤 月男

水土里フォト入選



「田んぼアートの稲刈り」(撮影場所:安城市)
撮影者・児玉 義彦

水土里フォト入選



「豊作の手応えを」(撮影場所:西尾市)
撮影者・鋤柄 勇

★入賞・入選作品の展示を以下により実施します。是非お立ち寄りください。

展示場所	展示期間(予定)
愛知県庁本庁舎・西庁舎地下連絡通路	令和5年1月23日(月)PM~27日(金)AM
東三河県民相談室(東三河総合庁舎1階)	令和5年1月30日(月)PM~2月10日(金)AM
西三河県民相談室(西三河総合庁舎1階)	令和5年2月10日(金)PM~24日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	令和5年2月24日(金)PM~3月10日(金)AM
海部県民相談室(海部総合庁舎1階)	令和5年3月10日(金)PM~3月24日(金)AM

「未来へつなごう! ふるさとの水土里」 子ども絵画展2022

入賞・入選作品決定 本県応募作品のうち2作品が入賞、 19作品が入選

「未来へつなごう! ふるさとの水土里」子ども絵画展2022に、全国から2,993点の応募があった。

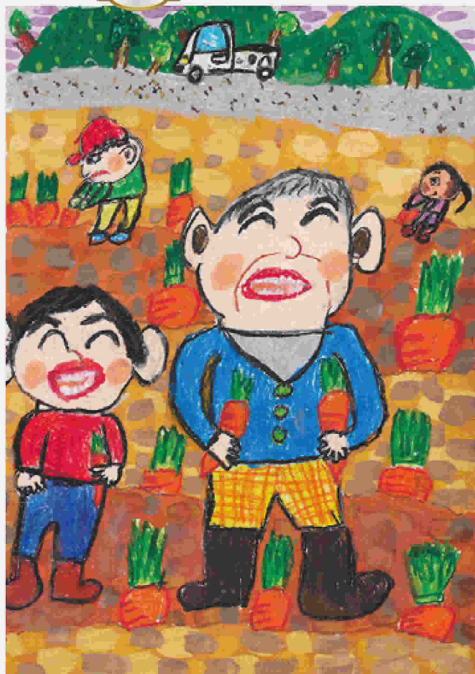
今年で23回目を迎えた本絵画展は、子どもたちが農村に関心をもってもらい、田んぼや水路、ため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

有識者による厳正な審査の結果、入賞作品31点、地域団体賞作品44点、入選作品126点が決定した。本県からは、入賞2点、地域団体賞8点、入選19点が選ばれた。

なお、本県の入賞作品は以下のとおり。

入賞

「じいじのにんじん畑」
吉田 彩那さん 小2 半田市



入賞

「こんなにいっぱいとうもろこし」
川口 結愛さん 小1 半田市



地域団体賞

水土里ネット愛知用水理事長賞



「あぜ道をとび回るとんぼ」
鈴木 麻弘さん 小1 みよし市

油ヶ瀬 watershed 土地改良区理事賞



「ばあちゃんの茶つみ」
穴井 美瑚さん 小5 安城市

茶屋新田地域資源保全隊賞



「今年の田んぼアートの絵」
谷本 唯愛さん 小5 名古屋市

水土里ネット豊川総合用水理事賞



「いとことおじいちゃんの田植えの手伝い」
浅岡 蒼佑さん 小5 豊川市

水土里ネット豊田理事賞



「きれいな田んぼの緑」
崩 心美さん 小4 豊田市

水土里ネット豊田副理事賞



「大好きなトマトを育てたよ」
渡邊 莉央さん 小2 豊田市

水土里ネット豊田総務委員長賞



「ぼくの田んぼ」
太田 裕己さん 小4 豊田市

水土里ネット明治用水理事賞



「おばあちゃんのはたけ」
富田 みゆさん 小2 知立市

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できます。令和5年度に向けてご検討いただければ幸いです。
詳細は、水土里ネット愛知総務課(TEL052-551-3611)まで問い合わせください。

お知らせ

令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)

9月27日(火)愛知県土地改良会館7階大会議室及び各土地改良区において、標記研修会を、全国水土里ネットによるWEB配信方式で開催した。

令和4年度から土地改良区複式簿記会計が本格導入され、慣れない複式簿記会計の理解を深めるため、土地改良区職員を対象とした本研修会は、財務諸表等に焦点をあてた研修内容となっており、合わせて約74名に参加いただいた。

なお、研修内容は次のとおり。



中根専務理事による開講挨拶

研修内容	講師 (敬称略)
財務諸表等の作成手続き	全国水土里ネット 支援部主査 金内 琴美
財務諸表等を活用した財務分析の方法	全国水土里ネット 支援部部長 市村 和寿

令和4年度 土地改良区体制強化事業統合整備推進研修会

12月7日(水)、全国水土里ネット主催による標記研修会が、熱田文化小劇場(名古屋市)で開催された。この研修は、土地改良区の統合整備を推進する人材の育成を図るとともに、土地改良区の体制強化の推進を目的としており、土地改良区担当者、都道府県土連担当者、行政担当者が出席した。土地改良区合併事例発表では、令和4年1月に新設合併した西尾土地改良区(西尾市)の北村佳信局長を講師に迎え、土地改良区合併の経験について講義いただいた。

なお、研修内容は次のとおり。



北村西尾土地改良区局長による事例発表

研修内容	講師 (敬称略)
①土地改良区の統合整備の推進について	全国水土里ネット 支援部部長 市村 和寿
②土地改良区の合併推進に資する滞納処分について	全国水土里ネット 上席参与 小笠原 善友
③土地改良区関係予算と男女共同参画について	農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課 組織強化企画班 組織企画係長 鈴木 健太
④土地改良区合併事例 「西尾土地改良区」	西尾土地改良区 局長 北村 佳信

研修会のご案内

研修会・催し名	開催月	対象者
農業用排水機県営移管期成同盟会 排水機管理担当者現地視察研修会	1月13日(金)	同盟会会員 排水機管理担当者
水土里ネット役員研修会	1月18日(水)	水土里ネット役員
土地改良施設維持管理適正化事業視察研修会	1月19日(木)	適正化事業加入団体
あいち水土里ネット女性の会	1月19日(木)	水土里ネット関係職員
愛知県多面的システム操作研修会	2月又は3月予定	多面的システム利用団体

※新型コロナウイルスの影響により、延期もしくは中止とさせていただきます。

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和4年12月19日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	0.85%	-	-	-	-
団体営	0.70%	-	-	-	-
非補助事業 一般	0.70%	-	-	-	-
災害復旧	-	0.30%	0.35%	0.55%	0.70%

全国水土里ネット女性の会研修会10/21 100人で意見交換“意識醸成のための運動論”を探る

グループワークでの意見（抜粋）

- 変わっていくか変わらないかは理事長や理事次第。経営者である理事長の理解と行動が必要。
- トップや役員さんの考え方を変える研修会を開催する必要がある。
- 男性ばかり土地改良事業について勉強する場があったように思う。女性にも機会を与える。
- 女性もどンドン外へ出て、広い視野を持つことが必要。意識的にそのような機会を増やすことが重要。
- 女性だけでなく若い男女の意見も取り入れる。
- 国や全土連に理事会や総代会で男女共同参画の必要性を説明してほしい。

根本会長 メッセージ

多様な視点や価値観は創意工夫をもたらし、社会を変える力となります。いま、これまで以上に女性の参画が求められています。

女性がいきいきと活躍できる職場は、すべての職員がいきいきと活躍できる職場です。その必要性を土地改良関係者それぞれの立場で理解し、一体となって取り組むことが重要です。



全国水土里ネット根本由紀子会長
（かつの土地改良区事務局長）

基調講演



全国土地改良事業団体連合会
室本隆司専務理事

土地改良とは？業務・歴史、そして事業の目的と農業振興活動の重要性等々、いまお伝えしたい必須事項をお話します。

皆さんで水土里の輪を各地で広げてください。私に皆さんの声を聞かせてください。私も国会での話をします。意見交換をしましょう！

応援メッセージ



都道府県水土里ネット会長会議
宮崎雅夫顧問

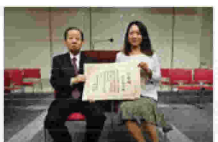
ひと口メモ

農業農村整備の集い(10/20)



全国土地改良事業団体連合会 二階俊博会長挨拶

いよいよ男女共同参画の取組みを本格化させる時が来ました。「理事の10%以上に女性にする」今年から集中的に取り組んでいたくださうお願いします。



男女共同参画功労者へ感謝状贈呈

萩原丈巳氏（水土里ネットやまなし総務課長）は全国水土里ネット女性の会初代会長として各県の女性の会の立ち上げなどに尽力されました。

企業の取組を研修(10/24)



田部井建設株式会社
川島弘美次長

私どもの会社では、男性だから、女性だからという意識が特になくと思います。

「女性活躍推進法」といいますが、皆さん「女性活躍」という言葉に違和感を感じないですか。

女性はもともと活躍していますよね。私の子供が大人になる頃、昔はこんな言葉があったね、というようになれば良いと思います。（疏水ネットワーク研修会）

